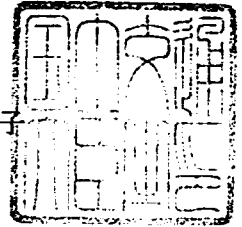


# 認 定 書

国住指第 8146 号  
平成 15 年 2 月 27 日

積水化学工業株式会社  
代表取締役社長 大久保 尚武 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号

PS060FL-0107

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

アルミニウム補強ポリエチレン樹脂製給・排水管/モルタル・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス充てん/床耐火構造/貫通部分（中空床を除く）

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 構造名

アルミニウム補強ポリエチレン樹脂製給・排水管／モルタル・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス充てん／床耐火構造／貫通部分(中空床を除く)

2. 寸法、形状等

項 目	製 品 仕 様 等
開口部の形状、直径及び面積	形状：円形 直径(mm)：107以下 面積(cm <sup>2</sup> )：89.9以下
占積率(開口面積に対する給・排水管断面積(外径断面積)の割合)	34.67%以下
貫通する床の構造等	鉄筋コンクリート(厚さ150mm以上)

3. 材料構成等

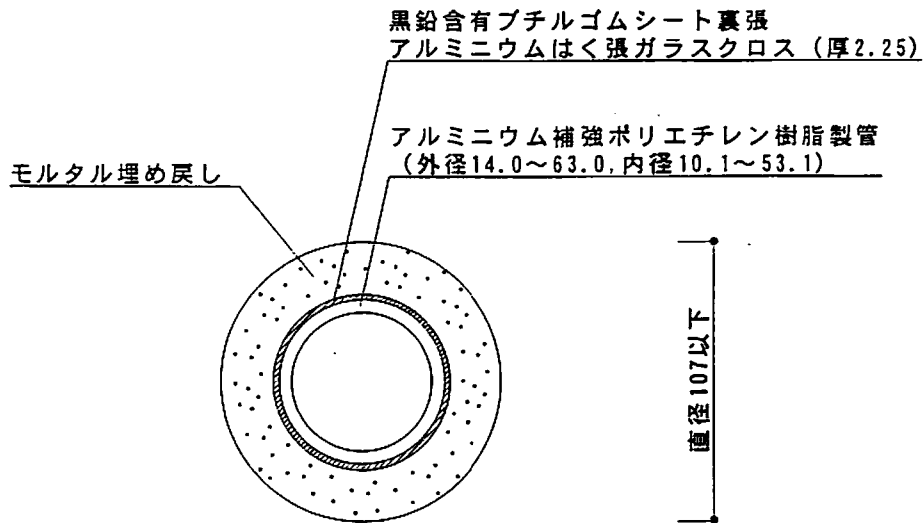
項 目	製 品 仕 様 等		
給・排水 管	アルミニウム補強ポリエチレン樹脂製管	外径(mm) 14.0～63.0(+0.2,-0) 内径(mm) 10.1～53.1(±0.2) 構成、厚さ(mm)等(①～⑤の積層品) ①ポリエチレン樹脂管(厚さ0.39～1.04) ②ポリエチレン樹脂系接着剤(厚さ0.13) ③アルミニウム管(厚さ0.25～1.20) ④ポリエチレン樹脂系接着剤(厚さ0.13) ⑤ポリエチレン樹脂管(厚さ1.10～2.50) ③のアルミニウム管の規格：JIS H 4000	
	防火措置材料	黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス(以下、ブチルゴムシートという)	規格 不燃材料認定番号 NM-0057 厚さ(mm) 2.25+0.28,-0.12 幅(mm) 160以上(床板への埋設幅：150mm以上、床板上面への露出幅：10mm以下) かさ比重 1.57+0.1,-0 構成等(①を②の片面に張った積層品) ①アルミニウムはく張ガラスクロス

項 目		製 品 仕 様 等
防 火 措 置 材 料	黒鉛含有ブチル ゴムシート裏張 アルミニウムは く張ガラスクロ ス(以下、ブチル ゴムシートとい う)	構成等(①を ②の片面に張 った積層品)  ②黒鉛含有ブチルゴムシート
		目地の接合方法 突付けまたは重ね巻き
	モルタル(埋め戻 し用)	厚さ(mm) 150以上 かさ比重 2.1以上
	施工方法	ブチルゴムシ ートの管への 巻き付け  ①墨出し 管のブチルゴムシートを巻き付ける位置に墨出 しをする。下端部の墨出し線は、ブチルゴムシ ートの床板への埋設幅が 150 mm 以上になる位置 とし、上端部の墨出し線は、下記のモルタル埋 め戻し後、ブチルゴムシートを管に巻き付けた ことが確認できるように、床の上面から上方の 位置(最大 10 mm)とする。  ②巻き付け 前記の墨出し線に従い、隙間が生じないように、 ブチルゴムシートを管に巻き付ける。ブチルゴ ムシートの目地部は、突付けまたは重ね巻きと する。
	モルタル埋め 戻し	床板の開口部の下部に当て板を取付け、モルタル にて開口部を隙間なく埋め戻す。

4. 構造説明図

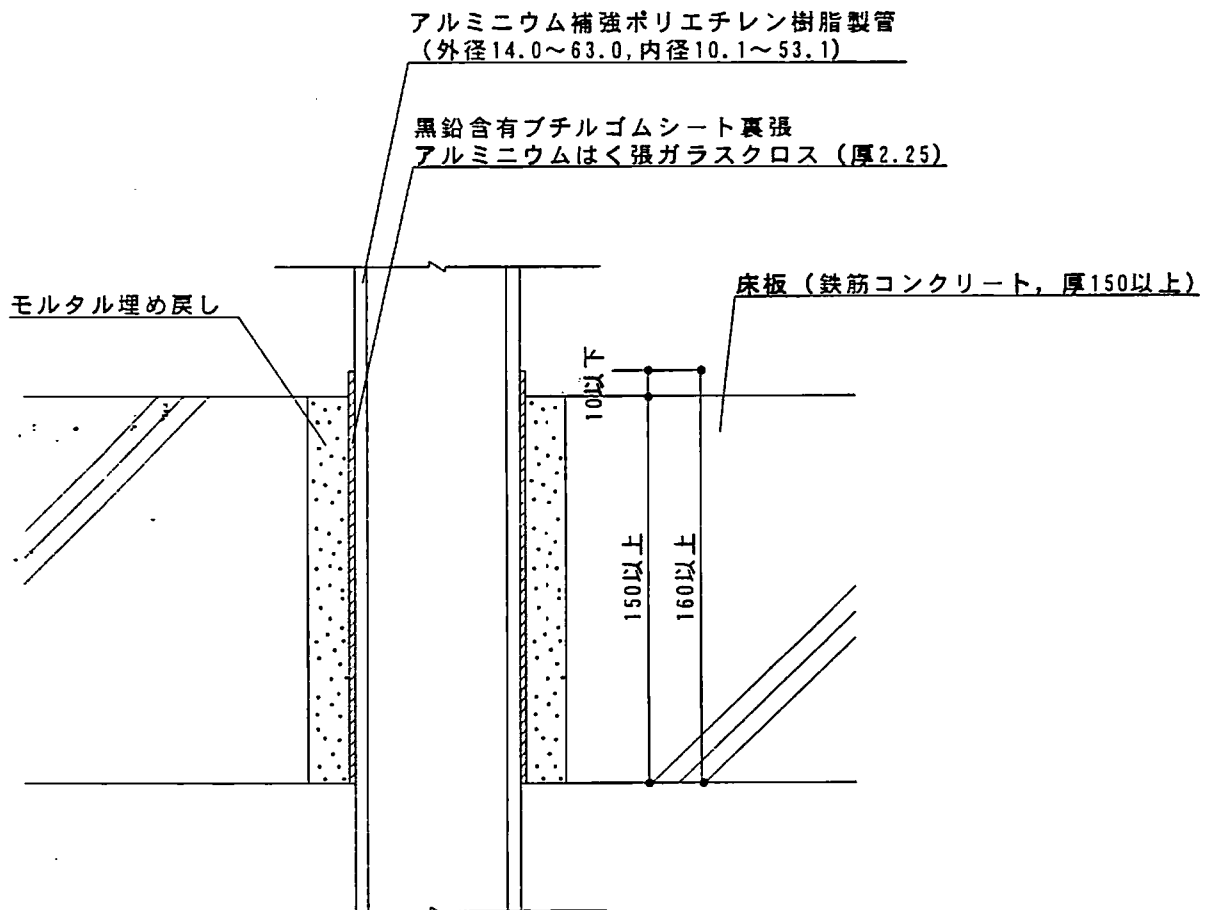
(単位：mm)

(1) 貫通部正面図



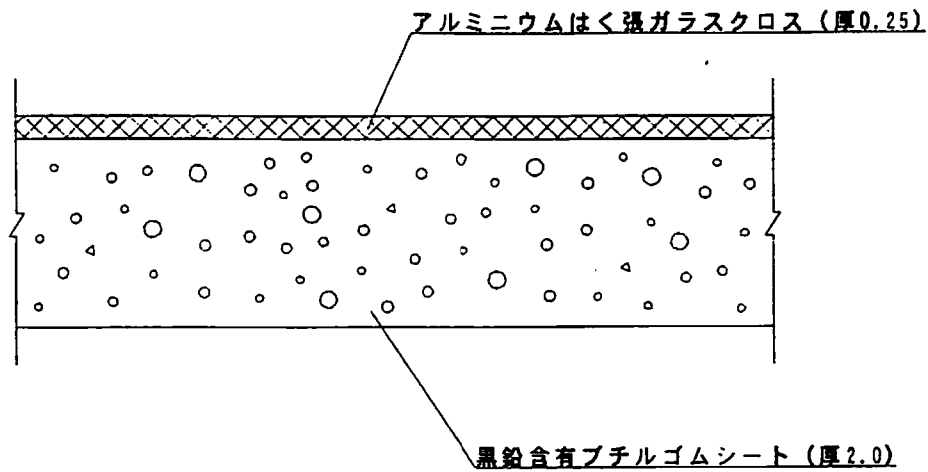
(単位：mm)

(2) 貫通部断面図



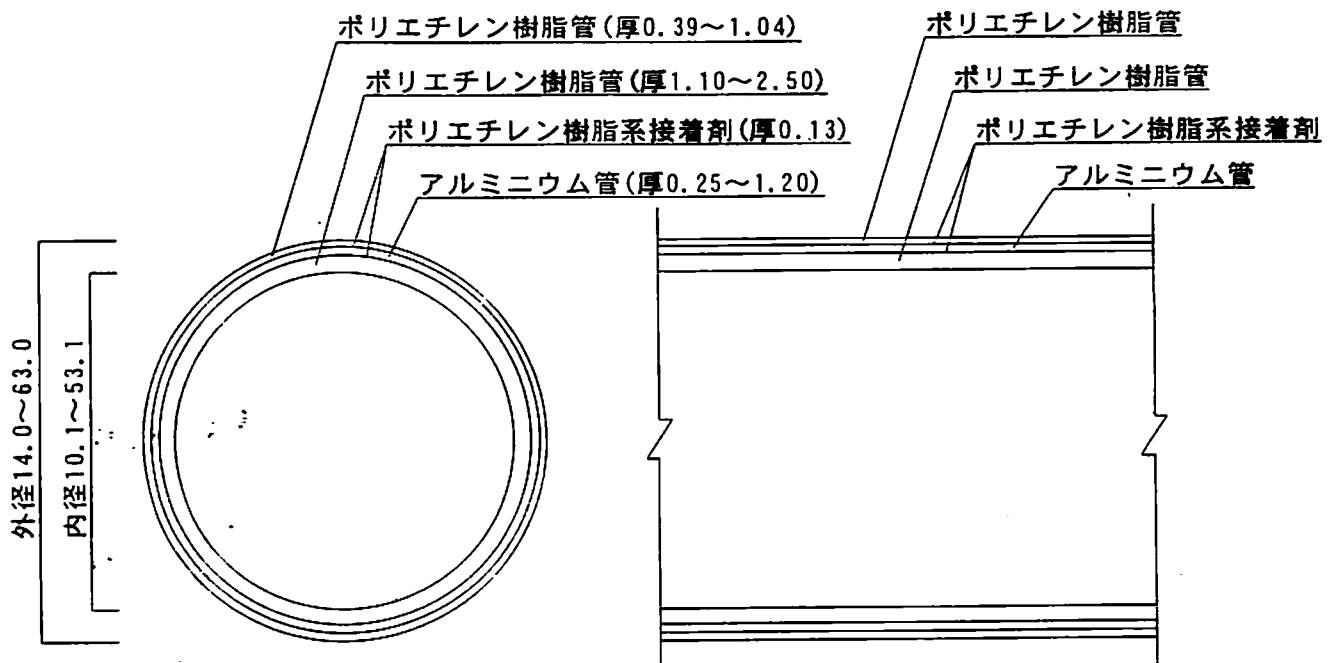
(3) 黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス詳細図

(単位：mm)



(4) アルミニウム補強ポリエチレン樹脂製管詳細図

(単位：mm)



## 5. 施工方法

### (1) 開口部の確認

管を貫通する部分の開口部が円形であり、かつその直径が 107 mm 以下であることを確認する。

### (2) 管への黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス(以下、ブチルゴムシートという)は、配管前あるいは配管後に、次の方法で管に巻き付ける。

#### ① 墨出し

管のブチルゴムシートを巻き付ける位置に墨出しをする。下端部の墨出し線は、ブチルゴムシートの床板への埋設幅が 150 mm 以上になる位置とし、上端部の墨出し線は、下記のモルタル埋め戻し後、ブチルゴムシートを管に巻き付けたことが確認できるように、床板の上面から上方の位置(最大 10 mm)とする。

#### ② ブチルゴムシート巻き付け

前記の墨出し線に従い、隙間が生じないように、ブチルゴムシートを管に巻き付ける。ブチルゴムシートの目地部は、突付けまたは重ね巻きとする。

### (3) 開口部へのモルタル埋め戻し

床板の開口部の下部に当て板を取付け、モルタルにて開口部を隙間なく埋め戻す。